

CASIO® P

5154P*JA

取扱説明書

5154

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

製品仕様

基本機能：アナログ部…時・分(2針)
デジタル部…時刻表示=時・分・秒、午前/午後
日付表示=月・日・曜日(オートカレンダー)

アラーム機能：時刻アラーム セット単位=分
電子音=20秒間
時報 毎正時に2回電子音で報時

デュアルタイム機能：表示内容=時・分・秒、12/24時間制切替え

ストップウォッチ機能：計測単位=1/100秒
計測範囲=59分59秒99(60分計)
計測機能=通常計測、積算計測

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替え、モニターアラーム

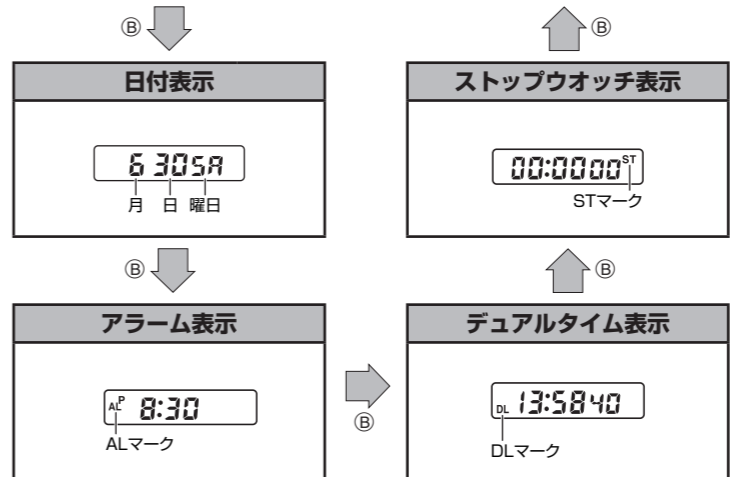
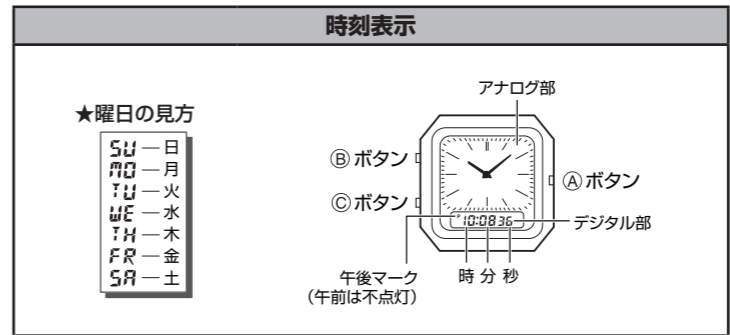
精度：平均月差±30秒

使用電池：SR920W 1個(電池別途販売)

電池寿命：約3年
(1日あたり電子音を20秒間使用した場合)

操作のしくみと表示の見方

Ⓑ ボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります(押すごとに確認音が鳴ります)。
※ 詳しくは各機能の項目をご覧ください。



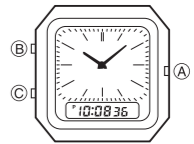
● 回転ベゼルのついているものは経過時間の測定ができます。回転ベゼルの回し、▼マークを分針に合わせて、その位置をスタートとして経過時間を知ることができます。

スタート、経過時間、現在の位置を示す図。

アナログ部のセットのしかた

デジタル部がどの表示のときでも、Ⓐ ボタンを押すと1/3分(20秒)ずつ進み、押し続けると早送りします。

※ 分針はデジタル時刻の秒が0秒、20秒、40秒になったときに1/3分(20秒)ずつ進みます。



安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例

⚡ △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味していません(左の例は感電注意)。

🚫 ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味していません(左の例は分解禁止)。

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味していません(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠️ **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠️ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠️ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠️ **警告**

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

🔋 **電池の取り扱いについて**

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

🔋 電池は小さなお子様手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠️ **注意**

🔧 **お手入れについて**

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。

🔧 **分解しないでください**

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠️ **注意**

🕒 **ご使用にあたって**

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

🕒 時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

🕒 時計脱着の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

🕒 思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

🕒 幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

🕒 **かぶれについて**

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

デジタル時刻のセットのしかた

■ 秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度くらい「秒合わせ」をしていただくとき刻はいつも正確です。

- デジタル時刻表示のとき、**C** ボタンを約2秒間押し続けると、「秒」が点滅します。



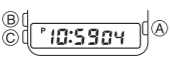
- 時報に合わせて**B** ボタンを押すと、「秒」が00秒からスタートします。



秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス117番」が便利です。

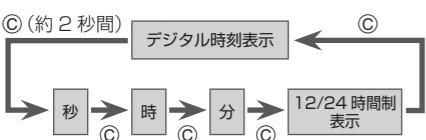
- C** ボタンを4回押すと点滅が止まり、時刻表示に戻ります。



■ 時刻の合わせ方

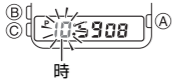
- セットしたい箇所を選ぶ

デジタル時刻表示のとき、**C** ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

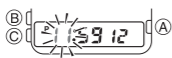


- 「時」のセット

デジタル時刻表示のとき、**C** ボタンを約2秒間押し続け、「秒」を点滅させます。続けて**B** ボタンを押し、「時」を点滅させます。

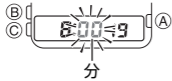


「時」が点滅しているとき、**B** ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



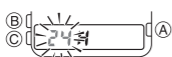
- 「分」のセット

「時」を合わせた後**C** ボタンを押すと、「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に**B** ボタンでセットします。



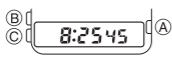
- 12/24時間制表示の切替え

「分」を合わせた後**C** ボタンを押すと、12/24時間制表示の切替えとなり、**B** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



- セットを終わる

C ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



※セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まります。

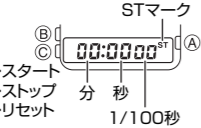
ストップウォッチの使い方

操作のしくみと表示の見方にしたがって**B** ボタンを押し、ストップウォッチ表示にします。

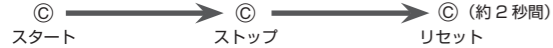
ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

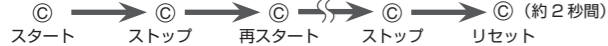
C ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測終了後**C** ボタンを約2秒間押し続けると、計測値がリセット(00:00 00表示)されます。※**C** ボタンを押すと操作確認音が鳴ります。



● 通常の計測



● 積算計測



アラーム・時報の使い方

操作のしくみと表示の見方にしたがって**B** ボタンを押し、アラーム表示にします。

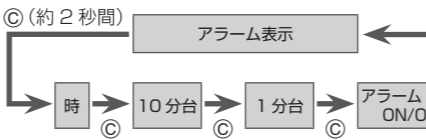
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時(00分のとき)に「ピピッ」と電子音で知らせる時報もセットできます。

※いずれもデジタル時刻にしたがって機能します。

■ アラームのセットのしかた

- セットしたい箇所を選ぶ

アラーム表示のとき、**C** ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



- 「時」のセット

アラーム表示のとき、**C** ボタンを約2秒間押し続けると、「時」が点滅します。



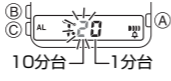
「時」が点滅しているとき、**B** ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。

※「時」の午前/午後(P)にご注意ください。

※時刻表示を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

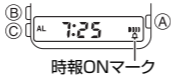
- 「10分台」・「1分台」のセット

「時」を合わせた後**C** ボタン押して「10分台」・「1分台」をそれぞれ点滅させ、「時」と同様に**B** ボタンでセットします。

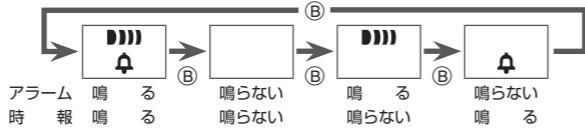


- アラーム・時報を鳴らすには

時・分のセット終了後、**C** ボタンを押すと、アラーム・時報のON/OFF切替えとなります。



このとき、**B** ボタンを押すごとにアラームONマーク(■)・時報ONマーク(▲)がそれぞれ以下のように点灯・消灯を繰り返します。各マークとも点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



※アラーム・時報を鳴らさないときは、各マークが点灯していない状態にします。

- セットを終わる

C ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

※セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まり時刻表示に戻ります。

- 鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、**B** ・**C** ボタンのいずれかを押します。

デュアルタイムの使い方

操作のしくみと表示の見方にしたがって**B** ボタンを押し、デュアルタイム表示にします。

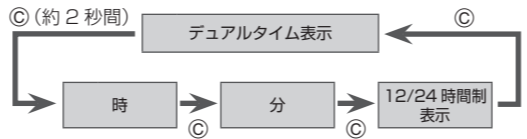
デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です(秒はデジタル時刻と連動)。

また、現在時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制、デュアルタイムを24時間制のようにセットすることもできます。加えてアナログ時刻も別の時刻にセットすると、合計3つの地域の時刻を表示することができます。

■ デュアルタイムのセットのしかた

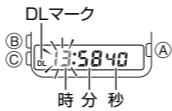
- セットしたい箇所を選ぶ

デュアルタイム表示のとき、**C** ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



- 「時」のセット

デュアルタイム表示のとき、**C** ボタンを約2秒間押し続けると、「時」が点滅します。

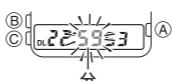


「時」が点滅しているとき、**B** ボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



- 「分」のセット

「時」を合わせた後**C** ボタンを押すと、「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に**B** ボタンでセットします。



- 12/24時間制表示の切替え

「分」を合わせた後**C** ボタンを押すと、デュアルタイムの12/24時間制表示の切替えとなり、**B** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



- セットを終わる

C ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

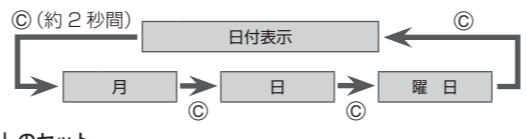
※セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まり、時刻表示に戻ります。

日付の合わせ方

操作のしくみと表示の見方にしたがって**B** ボタンを押し、日付表示にします。

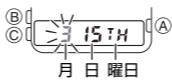
- セットしたい箇所(月・日・曜日)を選ぶ

日付表示のとき、**C** ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所(月・日・曜日)を点滅させます。

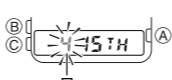


- 「月」のセット

C ボタンを約2秒間押し続けると、「月」が点滅します。

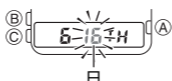


「月」が点滅しているとき、**B** ボタンを押すごとに「月」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「月」を表示させます。



- 「日」のセット

「月」を合わせた後**C** ボタンを押すと、「日」が点滅します。「日」も「月」と同様に**B** ボタンでセットします。



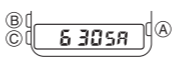
- 「曜日」のセット

「日」を合わせた後**C** ボタンを押すと、「曜日」が点滅します。「曜日」も同様に**B** ボタンでセットします。



- セットを終わる

C ボタンを押すと点滅が止まり、日付表示に戻ります。



※セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まり、時刻表示に戻ります。
※カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時おおよう年等の2月29日以外は修正不要です。

ご使用上の注意

■ 防水性

● 防水時計は時計の表面または裏面に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

| 表示 | 時計の表面または裏面に表記 | 日常生活用強化防水 | | | |
|--------------|---------------|-----------|--------|--------|--|
| | | 5気圧防水 | 10気圧防水 | 20気圧防水 | |
| 洗顔、雨 | 「BAR」表記無し | ○ | ○ | ○ | |
| 水仕事、水泳 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ | |
| スキダイビング(素潜り) | × | × | ○ | ○ | |

● 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
● 時計の表面または裏面に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿度の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかつたり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や粉沙の原因となります。バンドは、常にお手入れしただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換(有償)をお申し付けください。

■ 温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えませんが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

● アナログ時計やコンピーネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)が発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのご注意ください。

■ 保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
● 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スカウトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸取や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
● 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

● 金属を使用した製品(バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび(錆)が発生することがあります。 汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
● バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

● 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

● ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
● 皮革バンドは乾いた布で軽くなどして常に清潔にご使用ください。樹脂バンドも皮革バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
● バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

さび(錆)
● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。

- ・汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

劣化)

● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿度の高い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

かぶれ)

● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

● 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行います(防水検査は別途有償となります)。
● 樹脂(外装)部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にヒビなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

● お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
● お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立った」「表示が見にくくなり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド※を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

